



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月23日

上場会社名 株式会社 富士通ゼネラル

上場取引所 東

コード番号 6755 URL <https://www.fujitsu-general.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤悦郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長 (氏名) 加納俊男

TEL 044-861-7627

四半期報告書提出予定日 2020年11月2日

配当支払開始予定日

2020年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	126,564	△4.8	7,725	23.8	8,389	41.1	6,201	66.6
2020年3月期第2四半期	132,914	8.0	6,238	34.5	5,947	△12.0	3,722	△18.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 8,603百万円 (450.4%) 2020年3月期第2四半期 1,563百万円 (△64.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	59.27	—
2020年3月期第2四半期	35.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	223,860	117,841	50.8
2020年3月期	213,250	110,711	50.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 113,626百万円 2020年3月期 106,901百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	6.8	19,000	27.2	19,000	38.9	12,000	108.1	114.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	109,277,299 株	2020年3月期	109,277,299 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	4,630,305 株	2020年3月期	4,650,810 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	104,636,736 株	2020年3月期2Q	104,626,753 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法および四半期決算説明会の開催について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

また、当社は2020年10月26日(月)に機関投資家およびアナリスト向けの四半期決算説明会(電話会議)を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）におきましては、国内向け空調機および情報通信システムの売上は増加しましたが、新型コロナウイルスの影響等による海外向け空調機の減収により、連結売上高は1,265億6千4百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

損益につきましては、海外向け空調機の減収影響を最小限に抑えるとともに、コストダウンの進展および為替相場の好転等により、営業利益は77億2千5百万円（同23.8%増）、経常利益は83億8千9百万円（同41.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は62億1百万円（同66.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<空調機部門>

空調機部門では、国内向けの販売増や中東向けの出荷増がありましたが、欧州向けを中心とした海外向けの販売減により、売上高は1,134億2千2百万円（同5.4%減）となりました。営業利益は、海外向けの減収影響を最小限に抑えるとともに、コストダウンの進展および為替相場の好転等により、67億5千8百万円（同44.0%増）となりました。なお、新型コロナウイルスの影響が続くなか、早期の生産正常化に努め、北米や欧州の一部地域などにおける想定より早い需要回復にもタイムリーな商品供給で対応し販売を上積みするなど、海外の重点市場を中心に売上は計画を上回りました。

[海外向け]

売上高は、750億2千1百万円（同10.1%減）となりました。

米州では、ブラジルにおいて、市況低迷の影響により大幅な減収となりましたが、北米において、好天や在宅需要の高まりからルームエアコンの現地販売が堅調に推移したほか、米国で主流の全館空調方式エアコンも、現地協業先ルーム社と共同開発した新機種投入によるラインアップ拡充の効果から売上が増加し、米州全体の売上は前年同期並みとなりました。

欧州では、猛暑やATW（ヒートポンプ式温水暖房システム）向け補助金政策の恩恵を受け販売が大きく伸長した前年同期と比べると、新型コロナウイルスの影響もあり減収となりましたが、市況回復が早いフランスなど一部地域でルームエアコンの販売が堅調に推移するなど、売上は計画を上回りました。

中東・アフリカでは、新型コロナウイルス感染拡大に加え原油価格の下落から市況は低迷しているものの、現地在庫の削減を進めていた前年同期の出荷水準が低かったこともあり、売上が増加しました。

オセアニアでは、在宅需要の高まり等を背景にルームエアコンの販売は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種企業活動の停滞からサービスメンテナンス業務が低迷し、売上は前年同期を下回りました。

アジアでは、当社直販体制に移行した主力市場のインド向けの販売は前年同期を上回りましたが、その他地域において、新型コロナウイルスの影響による販売活動の制約などから販売が減少し、売上は前年同期を下回りました。

中華圏では、中国において、VRF（ビル用マルチエアコン）の販売は店舗向けプロジェクトを中心に増加しましたが、ルームエアコンは価格競争が激化するなか、採算性を重視した販売ルートの絞り込みを行ったことなどから、売上は前年同期を下回りました。

[国内向け]

売上高は、384億円（同5.4%増）となりました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言や梅雨の長期化などのマイナス要因はありましたが、在宅時間の増加による需要の早期立ち上がりや住環境への関心の高まりなどもありエアコンの需要は概ね堅調に推移しました。当社は、カビ菌・細菌を除去する当社独自の「熱交換器加熱除菌」機能を高級機種から普及機種まで搭載するほか、コンパクトさとデザインを両立させた機種など清潔性や多様な設置スペースのニーズに応えるラインアップを揃え、量販店ルートの販売が増加するとともに、住宅設備ルートの販売も堅調に推移し、売上が増加しました。

<情報通信・電子デバイス部門>

情報通信・電子デバイス部門では、情報通信システムの販売増により、売上高は121億8千4百万円（同0.3%増）となりましたが、案件ごとの利益率の違いから営業利益は6億5千1百万円（同45.7%減）となりました。

[情報通信システム]

売上高は、73億8千4百万円（同12.9%増）となりました。

公共システムにおいて、今年度においては商談案件が減少傾向ではあるものの、前年度の受注が好調だった防災システムの納入が順調に進展していることから、売上が増加しました。

[電子デバイス]

売上高は、47億9千9百万円（同14.3%減）となりました。

中国における設備投資の復調を背景に、産業用ロボット向け電子部品・ユニット製造の販売は増加しましたが、新型コロナウイルス感染拡大による自動車市場の低迷により、車載関連機器の売上は減少しました。

<その他部門>

売上高は9億5千8百万円（同7.1%増）、営業利益は3億1千5百万円（同8.5%減）となりました。

このほか、グループ全体の取り組みとして、個人の発想を起点に社会課題を解決する事業の創出に向けた新たなプログラムを本年8月より開始しました。国内外の全社員から事業アイデアを募集し、自発的な挑戦を促す企業風土を築くとともに、本年提供を開始したウェアラブルエアコン「コモドギア」に続く新たな価値創出を進め、持続可能な社会実現への貢献を目指してまいります。

(注) 上記文中の「計画」は2020年7月21日付業績予想公表時の計画です。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末（以下、当第2四半期末）の総資産につきましては、受取手形及び売掛金などの減少はありましたが、現金及び預金ならびに固定資産などの増加により、前連結会計年度末比（以下、前年度末比）106億9百万円増加し、2,238億6千万円となりました。

負債につきましては、拡販費用などの未払費用および借入金などの増加により、前年度末比34億7千9百万円増加し、1,060億1千9百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上およびその他の包括利益累計額などの増加により前年度末比71億3千万円増加し、1,178億4千1百万円となりました。

この結果、当第2四半期末の自己資本比率は0.7%増加し、50.8%（前連結会計年度末は50.1%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間（以下、当期間）の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費を源泉とした収入および売上債権の回収が進んだことなどによる運転資本の減少により、225億6千7百万円の収入（前年同期は67億3千9百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、開発・生産設備およびITシステムへの投資などにより38億5千2百万円の支出（同91億6千5百万円の支出）となりました。この結果、当期間のフリー・キャッシュ・フローは187億1千4百万円の収入（同24億2千5百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払などがありましたが、金融機関から資金調達を行ったことにより、8億3千5百万円の収入（同7億5千8百万円の収入）となりました。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物残高は、前年度末比196億9千8百万円増加し、472億7千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2020年10月16日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,571	47,270
受取手形及び売掛金	71,266	59,027
商品及び製品	24,874	25,132
仕掛品	1,548	1,422
原材料及び貯蔵品	6,556	5,182
その他	10,221	11,402
貸倒引当金	△268	△255
流動資産合計	141,770	149,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,678	34,322
機械装置及び運搬具	35,554	36,032
工具、器具及び備品	24,333	25,073
土地	9,007	9,008
建設仮勘定	796	2,018
減価償却累計額	△60,452	△62,909
有形固定資産合計	42,917	43,545
無形固定資産		
のれん	3,517	3,721
その他	7,713	8,975
無形固定資産合計	11,231	12,697
投資その他の資産		
投資有価証券	4,976	5,477
繰延税金資産	8,469	9,141
その他	3,896	3,826
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	17,331	18,435
固定資産合計	71,480	74,678
資産合計	213,250	223,860

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,465	30,995
短期借入金	5,446	8,242
未払法人税等	1,564	1,577
未払費用	14,946	18,330
製品保証引当金	3,835	4,603
海外事業等再編引当金	2,580	2,054
独禁法関連引当金	7,925	7,925
その他	10,319	11,417
流動負債合計	82,082	85,145
固定負債		
長期借入金	120	120
再評価に係る繰延税金負債	2,380	2,380
退職給付に係る負債	15,990	16,381
その他	1,966	1,991
固定負債合計	20,457	20,873
負債合計	102,539	106,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,089	18,089
資本剰余金	530	554
利益剰余金	95,296	100,032
自己株式	△5,045	△5,023
株主資本合計	108,870	113,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	434	766
繰延ヘッジ損益	△706	△1
土地再評価差額金	4,793	4,793
為替換算調整勘定	△6,496	△5,594
退職給付に係る調整累計額	6	9
その他の包括利益累計額合計	△1,969	△27
非支配株主持分	3,810	4,215
純資産合計	110,711	117,841
負債純資産合計	213,250	223,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	132,914	126,564
売上原価	96,352	88,851
売上総利益	36,562	37,713
販売費及び一般管理費	30,324	29,988
営業利益	6,238	7,725
営業外収益		
受取利息	29	17
受取配当金	74	68
持分法による投資利益	193	234
為替差益	—	659
その他	121	155
営業外収益合計	419	1,136
営業外費用		
支払利息	32	48
ロックダウンに伴うコンテナ返却延滞料	—	152
投資有価証券売却損	—	121
為替差損	403	—
退職給付制度改定に伴う影響額	158	—
その他	117	149
営業外費用合計	710	471
経常利益	5,947	8,389
税金等調整前四半期純利益	5,947	8,389
法人税、住民税及び事業税	2,697	2,621
法人税等調整額	△808	△861
法人税等合計	1,888	1,760
四半期純利益	4,058	6,629
非支配株主に帰属する四半期純利益	336	427
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,722	6,201

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	4,058	6,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98	331
繰延ヘッジ損益	—	705
為替換算調整勘定	△2,426	744
退職給付に係る調整額	9	2
持分法適用会社に対する持分相当額	19	189
その他の包括利益合計	△2,495	1,973
四半期包括利益	1,563	8,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,389	8,143
非支配株主に係る四半期包括利益	173	459

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,947	8,389
減価償却費	2,819	3,009
のれん償却額	120	102
引当金の増減額 (△は減少)	3	88
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	127	394
受取利息及び受取配当金	△104	△86
支払利息	32	48
売上債権の増減額 (△は増加)	10,336	12,934
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,890	1,875
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,957	△5,343
その他	609	3,290
小計	8,045	24,704
利息及び配当金の受取額	104	86
利息の支払額	△33	△37
法人税等の支払額	△1,376	△2,186
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,739	22,567
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,162	△2,586
有形固定資産の売却による収入	6	9
その他	△4,009	△1,275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,165	△3,852
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,485	2,783
長期借入れによる収入	160	—
長期借入金の返済による支出	—	△20
配当金の支払額	△1,357	△1,461
その他	△528	△466
財務活動によるキャッシュ・フロー	758	835
現金及び現金同等物に係る換算差額	△410	148
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,076	19,698
現金及び現金同等物の期首残高	35,412	27,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,335	47,270

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	119,878	12,142	132,020	894	132,914
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	345	345	154	500
計	119,878	12,487	132,365	1,049	133,415
セグメント利益	4,693	1,200	5,893	344	6,238

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,893
「その他」の区分の利益	344
四半期連結損益計算書の営業利益	6,238

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	113,422	12,184	125,606	958	126,564
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	612	612	161	774
計	113,422	12,797	126,219	1,119	127,339
セグメント利益	6,758	651	7,409	315	7,725

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,409
「その他」の区分の利益	315
四半期連結損益計算書の営業利益	7,725